

小児がん 親の笑顔を薬に

自分の生き方、考え方など人生観を変えた」と振り返る。1995年、子が県立こども病院で治療している親たちの会、「ほほえみの会」を立ち上げた。「子どもにとって一番の薬は親の笑顔。笑うことで免疫力を高めてほしい」との思いを込めた名前だ。毎月1回集まり、悩みを語り合って病院や医療の情報を交換する。初めて会を訪れ、涙で話の出来なかった人が、少しずつ胸の内を話し、最後は笑顔で帰っていく。そんな姿を見ると「親の会って必要なんだと感じる」という。

池田恵一さん(57)

県立こども病院には毎年約50人の新たな患者が訪れる。しかしここ数年、会に参加する人は減った。ネットで簡単に調べられるようになり、医療の進歩で、小児がんが20年前ほど絶望的な病気ではなくなったこともある。それでも厳しい病気であることに変わりはない。「DVDでは、子どもたちの入院生活の紹介に力を入れた。前向きに治療に取り組んでもらいたい」

DVDは県立こども病院に千枚届け、初診で訪れた人らに配布している。希望者には千円で提供する。問い合わせは同会(054・247・9560)へ。(寺尾佳恵)

自分の子どもが小児がんだと診断されたら——。親は頭が真っ白になり、育て方や普段の行いが悪かったのだろうかとか自分を責める。そして、医師の説明は、ほぼ理解できていない。そんなときに見てもらいたいとDVD「『ほほえみを忘れずに』小児がん診断された時に親が見るビデオ」を制作した。

20年前、次女が3歳で小児がんの末期と診断された。仕事中心の生活から、可能な限り、娘や家族のそばにいる生活に変えた。「娘の病気は、

人ひと



病気と入院生活紹介のDVD作成

小児がん診断その時親は…

県立こども病院(静岡市)映像も多く使った。『ほほえみの会』は、病院内の医師や看護師が全面的に協力した。初診後の親に医師から渡してもらった病気の知識や治療への心構えなどをまとめたDVD「ほほえみを忘れずに」小児がん診断されたときに親が見るビデオ」を製作した。田恵一代表は同じ境遇にある親にエールを送る。

同じ境遇から希望のDVD

県立こども病院「ほほえみの会」

DVDの内容は、小児がんの種類と症状、治療への心構え、病棟での生活、子どもへの接し方など多岐にわたる。医師らが専門知識をやさしい言葉で解説し、子は親が思う以上にたくましい。親も一緒に成長し、同じで話すうちに少しずつ、院内で過ごす子どもの和らぎ、現実を受け入れら

医師も助言 1000枚作製

最近自分でも悩みを解決しようとするネットなどに頼り、人との関わりを避ける親も多いため、親の心に寄り添うDVDを作ろうと決めた。昨年11月に丸紅基金(東京都)から交付された社会福祉助成金200万円を製作費に充てた。DVDは千枚製作し、こども病院に300枚を寄贈した。鑑賞した瀬戸副院長は「病気への恐怖心を和らげる効果がある」と感想を述べた。DVDは一枚千円(送料込み)で希望者に販売する。問い合わせは池田代表へ(054・247・9560)へ。

家族を励ますDVD

闘病支えた親ら製作 治療法や接し方など



DVDを製作した「ほほえみの会」代表の池田恵一さん(11月21日、静岡市駿河区で吉富裕倫撮影)

子供が小児がんにかかった経験を持つ静岡県内の親たちのグループが、同じ悩みをもつ患者の親たちを励ますとDVD「ほほえみの会」を結成。同会代表で映像製作会社社

元気があった子供が小児がんを宣告されると、親が絶望的になると取り乱してしまうことがある。静岡県立こども病院(静岡市駿河区)では、小児がん患者を治療する血液腫瘍科がある。池田恵一さんは「医師から説明を受けても、ショックのあまり自宅に帰った時には忘れてしまうこともある。ビデオがあれば、落ち着いて小児がんのことや自分の置かれた状況を理解できる」と語る。

医学用語を分かりやすくするためコンピュータグラフィックス(CG)を活用したり、正確な表現になるよう医師の指導も受け、場面によっては3〜4回作り直すなど製作に約1年を費やした。ビデオに出演した同病院の堀越泰雄医師は

「インターネットの情報に頼る親が増えていくが、必ずしも正確とは限らない。ビデオは子供の入院生活も紹介しており、親の不安を解消するのに役に立つ」と話す。DVDは丸紅基金(東京都)から200万円の助成を受け1000枚作製。同病院に寄付するほか、送料と寄付金の計1000円で希望者に郵送する。問い合わせは池田さん(054・247・9560)へ。【吉富裕倫】

「インターネットの情報に頼る親が増えていくが、必ずしも正確とは限らない。ビデオは子供の入院生活も紹介しており、親の不安を解消するのに役に立つ」と話す。DVDは丸紅基金(東京都)から200万円の助成を受け1000枚作製。同病院に寄付するほか、送料と寄付金の計1000円で希望者に郵送する。問い合わせは池田さん(054・247・9560)へ。【吉富裕倫】